KOKUBU NEWS RELEASE

国分グループ本社株式会社

お問い合わせ先/経営企画部 〒103-8241 東京都中央区日本橋1-1-1 TEL 03-3276-4121 FAX 03-3273-7305

NO. 05

平成28年2月25日

各 位

国分グループ、平成27年度の経営結果と平成28年度の経営方針

[1] 平成27年度の経営環境と経営動向の回顧

1. 平成27年度の経営環境と経営動向の回顧

昨年の我が国経済は、緩やかな景気回復に加え、インバウンド需要の拡大や円安などの外部環境の 改善により企業収益、消費マインドには明るい兆しがみられました。一方では、企業、地域、個人所 得などの格差が広がってきました。

当業界におきましては、国内成熟市場における競合の多様化、さらには輸入原料の高騰や物流コストの上昇により引き続き厳しい事業環境が続いています。また、食品表示法・機能性表示食品制度のスタート、TPPの大筋合意、食品軽減税率の導入予定と将来の変化に繋がる出来事もありました。消費者の嗜好は多様化し、安全・安心、健康、環境、美味しさなど欲求は量から質へ確実にシフトしています。

このような経営環境下にあって当グループは、卸基盤再構築に向けたグループ再編の最終局面の年、第9次長期経営計画「QUALITY300」の最終年として4つの事業領域の拡大や重点テーマを推進してまいりました。

さて、当社の連結業績でありますが、売上高は1兆6, 382億20百万円、前年比102. 2% となりました。売上高の内訳は、食品が8, 364億80百万円、前年比102. 6%、酒類が7, 151億18百万円、前年比101. 2%、その他が866億22百万円、前年比106. 1%となりました。

経常利益につきましては、88億7百万円、前年比86.8%、当期純利益は53億27百万円、前年比140.6%となりました。

2. グループ総合力の強化

(卸基盤再構築関連)

- ・首都圏国分㈱[東京都江東区]の業務用酒販店との取引を国分㈱フードサービス事業部へ移管。
 - (2・8月)

(4月)

- ・国分岩手酒販㈱「岩手県盛岡市」と東北国分㈱「宮城県仙台市」を統合。
- ・南九州国分㈱ [鹿児島県鹿児島市] と熊本国分リカー㈱ [熊本県熊本市] を九州国分㈱ [長崎県 長崎市] に統合。 (5月)
- ・山陰国分㈱[島根県松江市]、東中国国分㈱[岡山県岡山市]、西中国国分㈱[山口県山口市]、サンリック国分㈱ 「広島県安芸郡 」を統合、社名を国分西日本㈱ 「広島県安芸郡] に変更。(6月)
- ・国分㈱中国支社、山陰国分㈱ [島根県松江市]、東中国国分㈱ [岡山県岡山市]、西中国国分㈱ [山口県山口市]、サンリック国分㈱ [広島県安芸郡] の低温事業を国分フードクリエイト西日本㈱ [大阪府大阪市] に統合。 (6月)

- ・国分㈱中部支社、東北国分㈱ [宮城県仙台市]、国分フードクリエイト東京㈱ [東京都中央区]、 北陸国分㈱ [福井県福井市]、東海国分㈱ [三重県伊勢市] の低温事業を新設の国分フードクリエ イト㈱ [東京都中央区] に統合。 (9月)
- ・首都圏国分㈱ [東京都江東区] と国分菓子㈱ [東京都江東区] を統合、社名を国分首都圏㈱ [東京都江東区] に変更。(10月)

(総合力の強化)

- ・㈱クサヤ「大阪府大阪市」の全株式を譲受、子会社化。 (8月)
- ・デリシャス・クック(株) [東京都中央区] が千葉県習志野市に習志野工場を開設、製造開始。

(10月)

- ・国分㈱と丸紅㈱ [東京都千代田区]、国分㈱による㈱ナックスナカムラ [大阪府大阪市] および㈱ 山星屋 [大阪府大阪市] への出資、丸紅㈱による国分首都圏㈱ [東京都江東区] への出資、ならびに斯かる相互資本参加を通じた提携基本契約書の締結に合意した旨を発表。 (10月)
- ・㈱デイリーフーズ [東京都港区] の市販用フローズン事業を国分フードクリエイト㈱ [東京都中央区] が譲受。 (11月)

3. 物流関連

- ・東京都板橋区に大型三温度帯汎用センター、国分板橋総合センターを開設。 (2月)
- ・茨城県石岡市に大型三温度帯汎用センター、国分茨城総合センターを開設。 (8月)
- ・宮城県仙台市に大型三温度帯汎用センター、国分仙台総合センターを開設。 (10月)
- ・愛知県みよし市に常温汎用センター、国分三河流通センターを開設。 (10月)
- ・福岡県糟屋郡に常温汎用センター、国分福岡糟屋センターを開設。
 (10月)

4. 情報関連

- ·国分物流標準WMS「LEKS」稼働。 (3月)
- ・コールセンターシステムを構築、関西国分(株) [大阪府大阪市] にてスタート。 (11月)

5. 海外関連

- ・上海峰二食品有限公司[中華人民共和国上海市]を子会社化。(4月)
- ・KOSPA Limited 「ミャンマー連邦共和国」がヤンゴン北郊にて低温物流センターを開設。

(12月)

6. その他重要事項

・「国分三百年史」を発刊。 (10月)

[Ⅱ] 平成28年度の経営方針

本年度の日本経済は、企業収益、個人消費の緩やかな回復基調が続くとの見方もありますが、海外リスクの動向など先行き不透明な状況が続いています。

また、流通業界にあっては再編から淘汰の時代に入るとともに人手不足が顕在化してきました。人件費をはじめとするコストアップ、地域・地方のニーズ、消費者の欲求の多様化、グローバル化への対応など、時代に合わせた機能と質を求められています。

このような激変する経営環境にあっても「食のマーケティングカンパニー」として、食を取り扱うすべての事業者の真のビジネスニーズに主体的に応え続け、顧客満足度No.1企業を目指して、第10次長期経営計画に掲げた課題に取組んでいく所存でございます。

〔Ⅲ〕連結業績

【 連結損益計算書の要旨 】

(自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日) (単位:百万円)

科目	金額	売上比	前年比
__ 売 上 高	1,638,220	_	102.2%
(食 品)	836,480	(51.1%)	102.6%
(酒 類)	715,118	(43.6%)	101.2%
(その他)	86,622	(5.3%)	106.1%
売 上 総 利 益	128,888	7.87%	104.3%
販売費及び一般管理費	121,395	7.41%	105.4%
営 業 利 益	7,493	0.46%	88.7%
経 常 利 益	8,807	0.54%	86.8%
当 期 純 利 益	5,327	0.33%	140.6%

【連結貸借対照表の要旨】

(平成27年12日31日 現在)

(単位·百万円)

(平成2/年12月31日 現在 <i>)</i> (甲位:白力			
資産の	部	負債の	部
科目	金額	科目	金額
流動資産	483,997	流動負債	462,975
現金及び預金	21,952	支払手形及び買掛金他	420,533
受取手形及び売掛金	272,106	短期借入金	14,822
譲渡性預金	43,000	繰延税金負債	2
有価証券	20,506	その他	27,617
たな卸資産	44,833		
繰延税金資産	503	固定負債	30,082
未収収益	55,214	長期借入金	7,000
その他	26,001	繰延税金負債	10,866
貸倒引当金	△ 121	退職給付に係る負債	3,595
		その他	8,620
固定資産	134,218	負 債 合 計	493,058
有形固定資産	64,409	純 資 産	の部
無形固定資産	6,139	株主資本	103,474
投資その他の資産	63,669	資本金	3,500
投資有価証券	55,932	資本剰余金	5
繰延税金資産	441	利益剰余金	99,968
その他	7,861		
貸倒引当金	△ 566	評価・換算差額等	18,750
		少数株主持分	2,933
		純 資 産 合 計	125,158
資 産 合 計	618,216	負債 及び 純資産合計	618,216

【 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 】

(自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	の期末残高
平成27年12月期	7,398	△ 22,919	△ 775	64,952

【 販売の状況 】

(1)部門別売上高明細表

(自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

売上高	構成比	前年比
595,064	36.3%	102.4%
198,549	12.1%	103.4%
42,865	2.6%	102.3%
836,480	51.1%	102.6%
313,943	19.2%	102.5%
248,564	15.2%	102.9%
152,609	9.3%	96.2%
715,118	43.6%	101.2%
86,622	5.3%	106.1%
1,638,220	100.0%	102.2%
	595,064 198,549 42,865 836,480 313,943 248,564 152,609 715,118 86,622	595,064 36.3% 198,549 12.1% 42,865 2.6% 836,480 51.1% 313,943 19.2% 248,564 15.2% 152,609 9.3% 715,118 43.6% 86,622 5.3%

(2)酒類の種級別売上高明細表

(自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

種 級	売上高	構成比	前年比
清酒	61,165	8.6%	99.1%
焼酎	85,333	11.9%	96.2%
ワイン類	38,513	5.4%	100.4%
ウイスキー類	41,114	5.7%	116.3%
リキュール・スピリッツ他	87,816	12.3%	107.0%
酒 類	313,943	43.9%	102.5%
麦酒	248,564	34.8%	102.9%
ピアテイスト(麦酒除く)	152,609	21.3%	96.2%
合 計	715,118	100.0%	101.2%

【連結範囲及び持分法の適用に関する事項】

連結子会社31社持分法適用会社10社

〔IV〕単体業績

【 単体損益計算書の要旨 】

(自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	売上比	前年比
売 上 高	1,575,321	1	103.0%
(食品)	827,978	(52.6%)	104.0%
(酒 類)	681,178	(43.2%)	101.8%
(その他)	66,164	(4.2%)	103.1%
営 業 利 益	6,020	0.38%	102.4%
経 常 利 益	6,949	0.44%	97.8%
当 期 純 利 益	4,079	0.26%	130.4%

【 単体貸借対照表の要旨 】

(平成27年12月31日 現在)

(単位:百万円)

資産の	部	負 債 の	部
科目	金 額	科目	金額
流動資産	522,535	流動負債	520,944
現金及び預金	20,053	買掛金他	448,250
受取手形及び売掛金	355,834	短期借入金	14,122
譲渡性預金	43,000	その他	58,572
有価証券	20,506		
商品	20,355	固定負債	22,194
未収収益	33,391	長期借入金	7,000
繰延税金資産	341	繰延税金負債	10,101
その他	29,087	その他	5,093
貸倒引当金	△ 36		
		負 債 合 計	543,139
固定資産	118,826	純 資 産	の部
有形固定資産	46,487	株主資本	82,071
無形固定資産	5,254	資本金	3,500
投資その他の資産	67,084	資本剰余金	5
投資有価証券	46,777	利益剰余金	78,565
関係会社株式	14,860		
その他	5,609	評価•換算差額等	16,150
貸倒引当金	△ 163	純 資 産 合 計	98,222
資 産 合 計	641,361	負債 及び 純資産合計	641,361